

毎回セルフテストをされないお客さま用

【ヘアカラーリング施術の注意事項】ご確認いただけましたら☑をご記入ください。

ヘアカラーリング剤の中では酸化染毛剤が最も広く使用されていますが、主成分として酸化染料を含むため、染毛料等の他のカラーリング剤と比べてアレルギーを引き起こしやすく、まれに重いアレルギー反応を起こすことがあります。

「アレルギー反応」とは炎症性の皮膚炎のことで、大きく「刺激性接触皮膚炎」と「アレルギー性接触皮膚炎」に分けられます。また、皮膚炎だけでなく、まれにアナフィラキシーが起こることもあります。ヘアカラーリングの際は、必ず皮膚アレルギー試験（セルフテスト）を行う必要があります。

セルフテストとは、ヘアカラーリング剤の使用によりアレルギー症状が起こるかどうかを調べる最も有効な方法で、現在のところ、このテストに代わる試験方法はありません。

セルフテストはテスト開始の短時間後に起こる反応(即時型反応)と長時間後に起こる反応(遅延型反応)の両方を調べる必要があるため、テスト部位に塗布した後、30分くらい後と48時間後の2回の観察が必要です。毎回必ず、ヘアカラーリング施術の48時間前にパッチテストを行います。

万が一、かぶれが発生した場合は、すぐに皮膚科医の診察を受けてください。適切な処置が遅くなると、それだけ症状が長引いてしまいます。早めの治療が第一です。

治療に30日以上を要する症例が見られるなど、人によっては、アレルギー性接触皮膚炎が日常生活に支障を来すほど重篤化することがあります。

これまでに毛染めで異常を感じたことのない人であっても、継続的に毛染めを行ううちにアレルギー性接触皮膚炎になることがあります。

アレルギーの場合、一旦症状が治まっても、再度使用すれば発症し、次第に症状が重くなり、全身症状を呈することもあります。

低年齢のうちに酸化染毛剤で毛染めを行い、酸化染料との接触回数が増加すると、アレルギーになるリスクが高まる可能性があると考えられます。

【確認事項】

上記の内容(ヘアカラーリングの施術にはアレルギー反応を引き起こすリスクがあること)の説明を受け、理解しました。

アレルギー反応は突然起こりうる可能性があることを理解し、セルフテストを行わずに、アレルギー反応を起こしても、自己責任であることを了承のうえ、施術サロンの責任は一切問いません。

平成 年 月 日

住所

電話

氏名

印